

平成26年2月25日

日本医学会分科会事務局 御中

日 本 医 学 会

フィリピン台風30号を対象とした「国際緊急共同研究・調査支援プログラム (J-RAPID)」  
提案募集のお知らせ (周知依頼)

平素より、本会の事業推進にご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、独立行政法人科学技術振興機構国際科学技術部からより本会宛にフィリピン台風30号を対象とした「国際緊急共同研究・調査支援プログラム (J-RAPID)」提案募集のお知らせの周知依頼がありました。

つきましては、ご多用とは存じますが、何卒、ご高配・ご協力の程をお願い申し上げます。

下記の提案募集ホームページをご覧ください。

[http://www.jst.go.jp/sicp/announce\\_rapid\\_3rd\\_2014.html](http://www.jst.go.jp/sicp/announce_rapid_3rd_2014.html)

なお、詳細につきましては、独立行政法人科学技術振興機構 (JST) 国際科学技術部 (E-mail: [rapid@jst.go.jp](mailto:rapid@jst.go.jp)  
電話: 03-5214-7375, 担当: 村上氏または中島氏) にお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。

日本医学会 電話: 03-3946-2121 (内 4260)  
(担当 高橋)

日本医学会  
事務局御中

平素より格別のご厚情を賜り、厚く御礼を申し上げます。

このたび、JST は、フィリピン科学技術省(DOST)と協力して、平成 25 年にフィリピンで被害をもたらした台風 30 号に関連した緊急を要する研究・調査を支援する「国際緊急共同研究支援プログラム」を実施することとなりました。

詳細につきましては提案募集ホームページをご覧ください。

[http://www.jst.go.jp/sicp/announce\\_rapid\\_3rd\\_2014.html](http://www.jst.go.jp/sicp/announce_rapid_3rd_2014.html)

メーリングリストでのアナウンスまたはホームページへの掲載用に、お知らせの文面を作成いたしましたので、貴学会会員の皆様へお知らせ下さいますよう、お願い申し上げます。

【本メールについてのお問い合わせは、下記連絡先までお願い致します。】

お問い合わせは、なるべく電子メールにてお願いします。

独立行政法人 科学技術振興機構(JST)

国際科学技術部

E-mail:rapid @[jst.go.jp](mailto:rapid@jst.go.jp) (募集専用)

TEL 03-5214-7375

担当: 村上または中島

---

フィリピン台風 30 号を対象とした「国際緊急共同研究・調査支援プログラム(J-RAPID)」  
提案募集のお知らせ

---

このたび、JST は、フィリピン科学技術省(DOST)と協力して、平成 25 年にフィリピンで被害をもたらした台風30号に関連した緊急を要する研究・調査を支援する「国際緊急共同研究・調査支援プログラム(J-RAPID)」を実施します。

これは、台風 30 号にに関連し緊急に実施する必要がある研究・調査を日フィリピン研究者が共同で実施する際に、JST が日本側研究者を支援するものです。

詳細につきましては募集専用ホームページをご覧ください。

[http://www.jst.go.jp/sicp/announce\\_rapid\\_3rd\\_2014.html](http://www.jst.go.jp/sicp/announce_rapid_3rd_2014.html)

#### ■募集分野

フィリピンにおける台風30号被害に関連した研究・調査で、その遂行に緊急性があるもの。例えば、

- (i)台風被害防止に関する研究・調査
- (ii)強風、大波、洪水、高潮等による被害の実地調査
- (iii)現地調査に基づく台風の物理的機構の解明
- (iv)巨大台風による高潮発生メカニズム
- (v)建物や橋などのインフラの被害調査
- (vi)ライフライン(道路、電気、ガス、上下水道等)のタイムスパン(短期・中期・長期)に応じた応急対策・復旧計画の検討
- (vii)公衆衛生・感染症

などが挙げられます。これらに限らず他の科学技術分野、研究調査内容でも、フィリピン側研究者と合意ができたものは応募可能です。

また、DOST 側では特に下記テーマに関して先行して募集/研究を行っており、これらのテーマに関してフィリピン側研究グループに協力できる日本側研究者も募集いたします。

- (1)既存建築物(避難所、オフィス等)の耐震、耐強風(風速 350km/h レベル)改造・補強に関する研究・調査
- (2)災害時に別用途に活用するための既存建築物の改造や、別用途への転用を考慮した新規建設に関する研究・調査(例:体育館や多目的ホールを災害発生時に避難センターにするための改造など)

- (3) フィリピン各省庁保有の地理情報システム(GIS)の統合化に関する研究調査、衛星を利用した被災地観測
- (4) 遠隔医療用機器(医療データの収集・記録・通信)とその適用に関する研究、災害時の医療ホットライン情報システム
- (5) 損傷した試料での DNA 鑑定

#### ■ 支援規模

共同研究・調査課題が採択された場合、日本側研究者は半年～1年間で300万円程度の委託研究・調査費を受け取ることができます。

#### ■ 応募締切

平成26年2月21日(金)から募集を受け付けます。受理後順次審査を行い、採否を決定・通知します。

特に応募締め切り日は設定しませんが、支援可能件数に達し次第受付を終了しますので、できるだけ早く提案を提出してください。なお、応募受付状況は本ホームページにて更新いたしますのでご応募前にご確認ください。

#### ■ お問い合わせ先

独立行政法人 科学技術振興機構(JST)

国際科学技術部

E-mail: [rapid@jst.go.jp](mailto:rapid@jst.go.jp) (募集専用)

TEL 03-5214-7375

担当: 村上または中島